

## NICUに関する調査結果

- ・ 調査対象病院 小児科・小児外科を標榜する病院（123病院）
- ・ 調査基準日 平成20年2月1日（金）

### 1 NICU等病床数、基準日現在のNICU等の入院患者数及び病床利用率（34施設）

区分	病床数	基準日現在の入院患者数	基準日現在の病床利用率
1) 新生児集中治療管理室 (NICU)	137床	127人	92.7%
2) 準NICU	80床	42人	52.5%
3) NICUの後方病床	205床	166人	81.0%

- (注) ※ 1)の「NICU」は、診療報酬上の施設基準に合致するもの  
 ※ 2)の「準NICU」は、診療報酬上の条件を一部満たしていないが、NICUとして運用している病床  
 ※ 3)の「NICUの後方病床」は、NICUを退出した児、及び点滴、酸素吸入等の処置を必要とする児を収容する病床（ただし、重症心身障害児施設の病床を除く。）  
 ※ 「NICUに併設された回復期治療室（以下「GCU」という。）」は、3)の「NICUの後方病床」に含める。  
 ※ 病床利用率=入院患者数×100÷病床数

### 2 患者の状況

#### (1) 基準日現在のNICU等の入院患者数と入院期間による患者の内訳

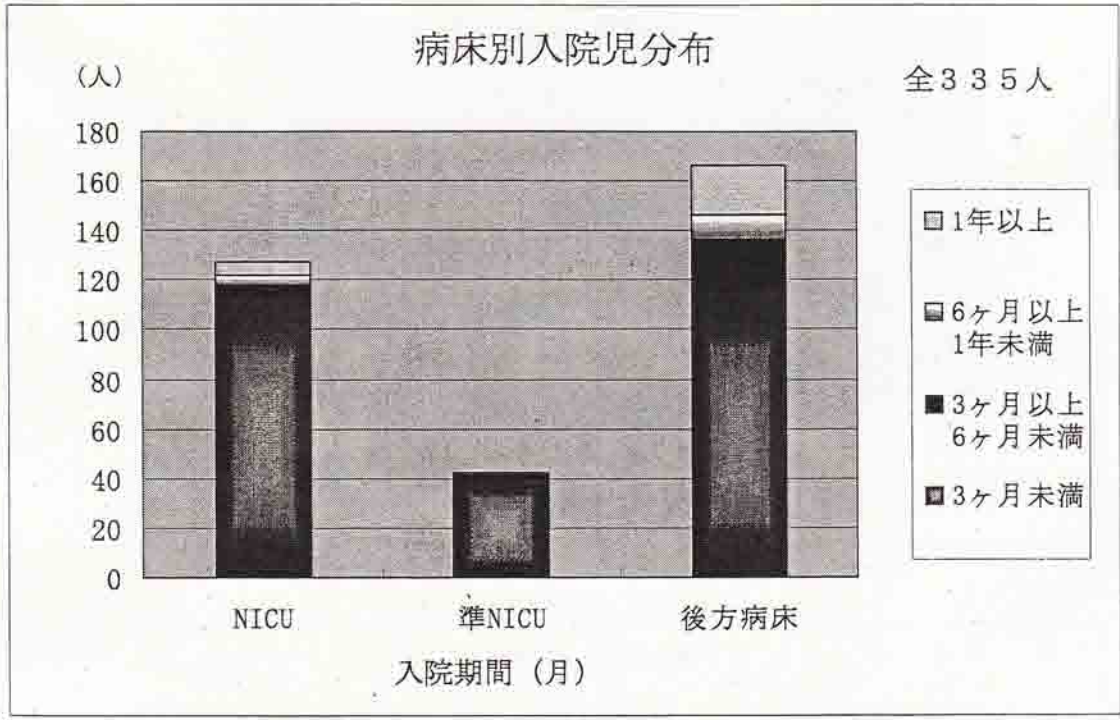
区分	基準日現在の入院患者数	入院期間による患者の内訳			
		3ヵ月未満	3ヵ月以上 6ヵ月未満	6ヵ月以上 1年未満	1年以上
1) NICU	127人	112人	6人	4人	5人
2) 準NICU	42人	40人	1人	0人	1人
3) NICUの後方病床	166人	116人	20人	10人	20人
計	335人	268人	27人	14人	26人

\* 1年以上の長期入院児の割合 7.8%

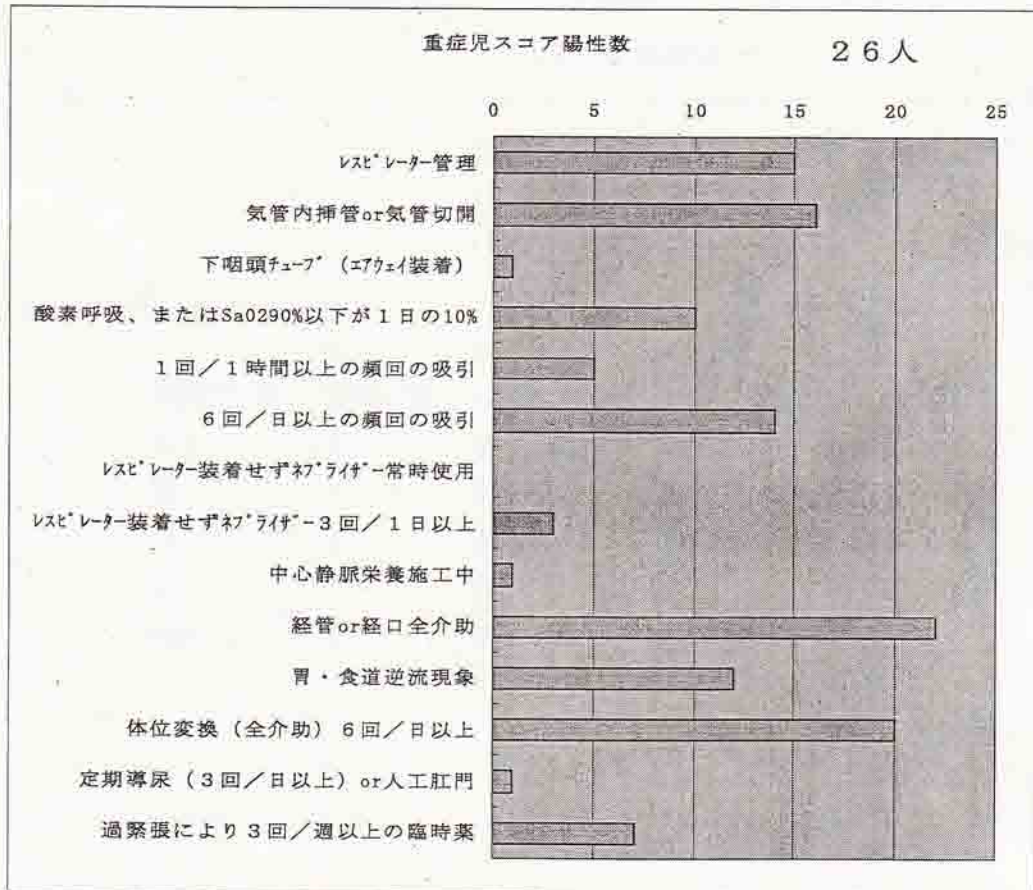
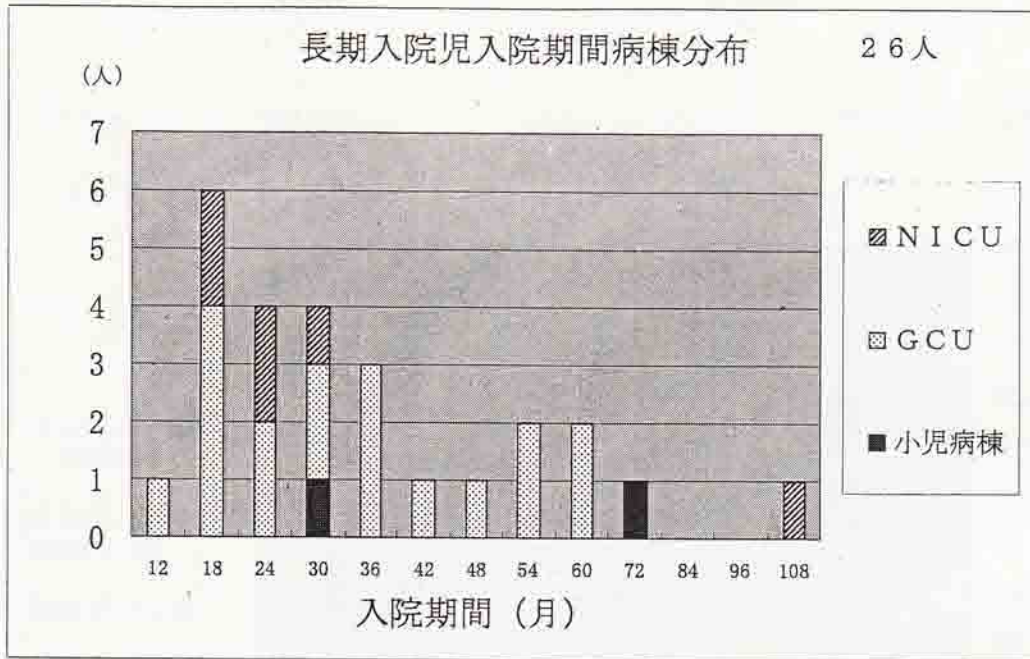
#### (2) 基準日現在のNICU等の入院患者の出生時別の内訳

区分	基準日現在の入院患者数	出生時の体重による患者の内訳					
		超低出生体重児		極低出生体重児	低出生体重児	2500g以上	不明
		500g未満	500g以上 1000g未満	1000g以上 1500g未満	1500g以上 2500g未満		
1) NICU	127人	2人	39人	30人	35人	21人	人
2) 準NICU	42人	人	人	6人	27人	8人	1人
3) NICUの後方病床	166人	2人	17人	15人	71人	61人	人
計	335人	4人	56人	51人	133人	90人	1人

\* 出生体重 2500g 未満の割合 NICUでは83.5%、準NICUでは78.6%、後方病床では63.6%



	NICU	準NICU	後方病床
3ヶ月未満	112	40	116
3ヶ月以上6ヶ月未満	6	1	20
6ヶ月以上1年未満	4	0	10
1年以上	5	1	20
計	127	42	166

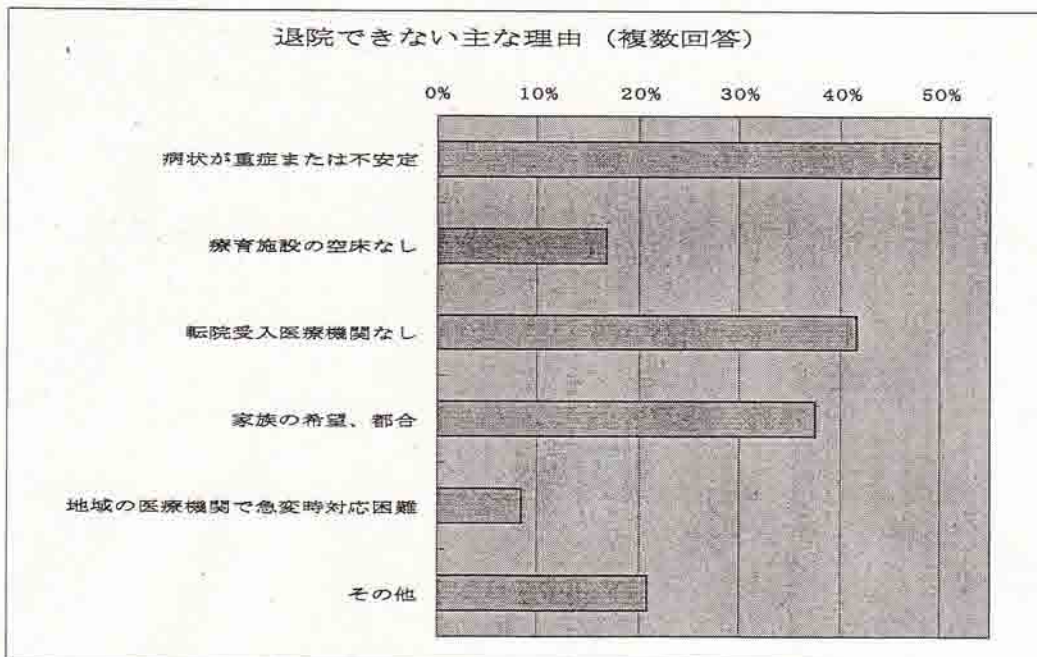
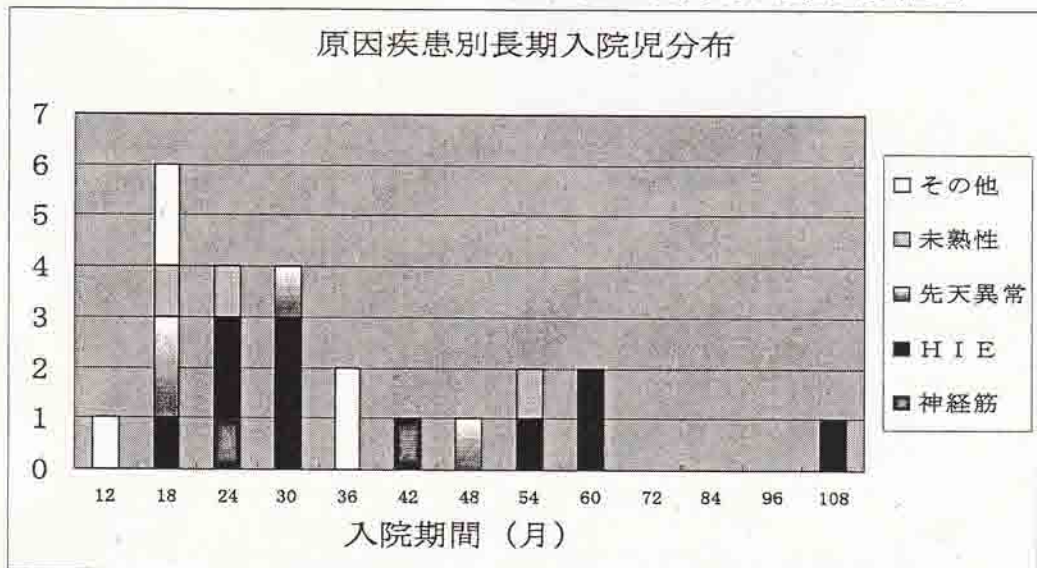


医療行為の合計点数 25点以上 16人 (うち30点以上 12人)

### 退院できない原因疾患

原因疾患	24
低酸素性虚血性脳症（H I E）	10 重症新生児仮死、蘇生後脳症
先天性異常	4 短腸症候群、18トリソミー、13トリソミー、多発奇形
未熟性	3 慢性肺疾患、超低出生体重児、
神経・筋疾患	2 先天性筋緊張性ジストロフィー、先天性神経筋疾患
先天性心疾患（CHD）	0
その他	5 肺高血圧、21トリソミー、憤怒けいれん

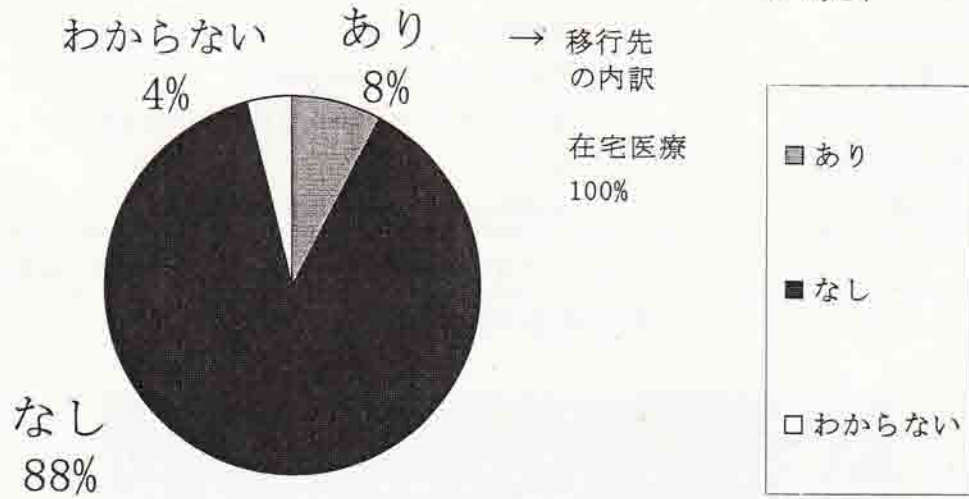
\*全26人中2人は1ヶ月以内に退院予定（在宅）



H I E 10人の医療行為の合計点数 25点以上8人（うち30点以上8人）

1ヶ月以内の退院見通し

26人中



あり2人、なし23人、わからない1人

NICU等長期入院児の移行について

	長期入院 児総数 (1年以上)	現時点で最も望ましい療養・療育環境 (A)					
		上記の内、移行できる見込みの児童数 (B)					
		(A-B)					
		(1)引き 続き医療 機関の NICU等 に入院	(2)同じ病 院の小 児科病 床	(3)他病 院の小 児科病 床	(4)福祉 施設	(5)自宅	(6)その 他(リハ ビリテー ション 病院)
NICU	6	1	0	0	2	3	0
		0	0	0	0	1	0
		—	0		2	2	0
GCU	18	5	6	2	2	2	1
		0	0	0	0	1	0
		—	8		2	1	1
その他	2	0	0	1	1	0	0
		0	0	0	0	0	0
		—	1		1	0	0
計	26	6	6	3	5	5	1
		0	0	0	0	2	0
		—	9		5	3	1